



このプランのガレージに収めるのはBMWのS1000RRとRnineTスクランブラー。ドイツ車ならではの、高い完成度を誇る車体とLGS骨格が共鳴するガレージ空間は鉄感が満載です。ちなみに天井のスポットライトは、鉄骨の梁にセットされたライティングダクトに自由に脱着可能となっているので、必要に応じて角度や個数を調整できるのもうれしいポイント。あえて鉄パイプで露出配管した電気配線のスイッチ、コンセント類もこだわりの仕様なのです。



#01 Garage that stores 2 motorcycles

バイク2台を格納して  
自らメンテを楽しむ場所

GLBのガレージは階段を除く実面積で5.5坪、約18㎡の空間ですからバイクならば4~5台は格納できます。しかし台数を限定して少しスペース

をキープ、リフトやツールキャビネットを設置する。そして愛機を心行くまでメンテナンスするための秘密基地として活用するのも魅力的です。

ハードボイルドタッチのガルバリウム界壁をバックに、愛機のエンジンやパーツ類、そしてツール達は金属本来の素材感を感じさせてくれます。適度なスポットライトに照らされる光沢感もリアルそのもの。ツヤ消し黒の鉄骨骨格と共鳴して、バイクのフレ

ームが浮き立ってくるから不思議です。何事も骨格が大切なのです。バイクとともに建築も楽しんでしまおう。短い時間でもあなたの集中力は研ぎ澄まされています。まさにバイク好きにとっての夢空間。至福の時間を楽しんでください。

Specialthanks/Motorrad Sapporo-Minami TEL:011-375-7305 URL:www.motorrad-sapporo-minami.bmw-motorrad.jp

**Bike Info**  
S1000RR Premium Line:  
2,195,000円(税込)  
R nineT Scrambler:  
1,765,000円(税込)



What's GLB?

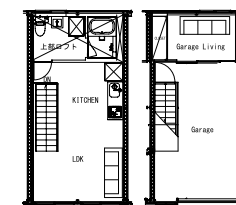
“GLB”とは、ガレージ×リビング×ベッドの略。クルマ好き、バイク好き、アウトドア好きにとって、これだけあれば十分という3つの要素を軸に、デイトナハウスのLGSシステムを使って設計される新機軸のガレージアパートメントの名称です。



ガレージアパートメント“GLB”  
その内部空間を本邦初公開!

9月末の完成を目指して急ピッチで工事が進む、“GLB”の第1号物件、苫小牧の『AREA053』が、ついにそのインテリアを大公開。今回は気になるその全貌をレポートします。

Text/Atsushi TAMADA Photo/Ken TAKAYANAGI



1Fにはガレージとガレージリビング。2Fはキッチン、トイレ、バスルームといった水まわりが備わるLDKとして設定。更にLDK上部には6.6㎡の豊かなロフトスペースが。気になる家賃は7万6000円~8万2000円となっています。

これがGLBの内部空間だ！  
デイトナハウスが自信を持つて企画する新機軸のガレージアパートメント、GLB。そのガレージ空間の魅力は、他ではお目にかかれないガルバリウムの界壁とツヤ消し黒の軽量鉄骨のコントラストにあります。一般に、アパートのような共同住宅は隣家との壁の法的制限が厳しくこの、界壁と呼ばれる特殊な二重壁を義務づけられています。そのため普通にガレージを作るとプラスチックボードとビニールクロスで壁になってしまいます。とは言え、デイトナハウスは骨格住宅ですから何となく鉄骨を感じられる空間にしたい。そこで工夫を凝らして編み出したのが、このガルバリウム界壁なのです。鉄骨フレームに縁どられて、まるでコンテナのようなハードなイメージ。表面材の演出ではなく、建築の構造そのものの住性も加味した断熱コンクリート板・Gスラブ、の天井も世田谷ベースと同一仕様。鉄骨梁の素材感と緊張感がなんとも嬉しい仕様なのです。



LOFT



2F

豊かな吹き抜け空間が魅力の2F LDKスペース

GLBの2Fは、世田谷ベースと同じ曲面屋根“Rスパン”が作り出す巨大な吹き抜け空間が特徴です。平面的な面積の数値だけではわからない利用価値、寝床になるロフトから見下ろしたリビングスペースは新しい賃貸住宅のカタチを実現しています。毎日の元気が湧きあがってこくこと間違いなし。



1F

1F奥にはガレージリビングを設定

1Fガレージ奥には、ガラスの開け切りで仕切られた小さな空間を構築。GLBの魅力の一つである“ガレージリビング”と呼ばれるスペースです。単にクルマやバイクを格納するだけでなく、長時間ここで過ごしながら愛機との時間を大切に。あるいは趣味を同じくする友人と語り合う場所として、必要にして十分なスペース。使い込んだ愛機のソファを置いて、一服してください。



Case #03 Garage that stores 1 car and 1 motorcycle

## とっておきのクルマ1台とバイク1台 ベーシックな大人のガレージライフ

GLBのガレージスペースはクルマ1台を収めた場合、バイクは2台まで格納可能です。このプランで注意すべきは車幅です。ラングラーやランクルの様な大型SUVと、バイク

2台という組み合わせだと、少しぎっしりした印象にはなります。だとすれば、あまりモノを入れる方向ではなく、とっておきのクルマ1台、バイク1台という取り合わせがオス

メです。これであれば、スペースには余裕もでき、出来る男ならではの落ち着いた印象になるからです。後はガレージリビングを利用してギアや工具類を上手にその空間に収めるこ

とが腕の見せ所になることでしょう。朝、最奥の開口部から差し込む光に照らされた愛車に乗り込み、電動シャッターが開けば、出撃気分は満たされること間違いナシ。

**Car Info**  
MINI COOPER S  
CONVERTIBLE  
(ペーパーホワイト):  
4,100,000円～



GLBのガレージスペースは、シャッター有効幅寸法2.48mですので、ほとんどのクルマは格納可能です。また、機械的な吸排気性能を十分取れるように配慮。排気ファンと同一性能の吸気ファンが自動的に作動して、効率よくガスを排出する機構です。あまり威勢よく吹かすことはお勧めしませんが、ガレージ内でエンジンを起動する喜びは十分満喫できるのです。

Specialthanks/MINI札幌(株式会社モトレン札幌) TEL:011-860-3200 URL:www.sapporo.mini.jp

## 現場内覧もスタートしています！



ガレージアパートメント「GLB」の1号物件、北海道は苫小牧の「AREA053」は、本年9月末入居開始予定に向けて、現在急ピッチで工事を進めています。今後、足場が外されれば、各世帯のシャッターにステンシルでナンバーが表記され、さながらサンダーバード2号の世界を彷彿とさせることでしょう。

外構工事の舗装や基地で見かけるフェンス工事も完備すれば、いよいよ新機軸のモーターライフ天国が出現する運びです。次号では、2Fの内

部空間の完全情報もお知らせする予定ですが、本誌が書店に並ぶ頃には、現場では希望者がいつでも内覧できるようになっていますので、こちらも要注目。ガルバリウム壁とツヤ消し黒鉄骨の秀逸なガレージ空間。Rスパンの作り出す豊かな吹き抜け空間がうれしい余裕の居住スペース。そのポテンシャルと全く新しいモーターライフの幕開けを実感してください。詳しくは専用WEBサイトをご覧ください。

右の写真は、現在絶賛作業中のAREA053を空撮したものです。総世帯数は25室。鉄骨がそのままむき出しの意匠になり、空間を構成すること。またその骨格がカッコいいバイクやクルマと共鳴することを知っている現場の職人さんたちも、いつになくやる気満々なのです。



Photo/Yao NAKAMURA



**AREA 053** [www.daytona-house.com/area053](http://www.daytona-house.com/area053)  
area053.site(DAYTONA HOUSE HOKKAIDO)



Specialthanks/AutoStudio 284  
TEL:0144-55-0110 URL:as2and4.com

Case #02 Garage that houses your active sports gear

## アクティブスポーツギアに 囲まれた遊び心溢れる空間

GLBのガレージ空間はクルマやバイクの格納に留まらない新しいイメージを提供します。その意味では、従来の「車庫付き」という売り文句のパーツとはそもそもコンセプトが全く違うと考えてください。GLBのガレージ空間は、まさにそこに生活の中心があるのです。その可能性はアウトドアライフ全般、または同好の趣味を持つ人間の数人でのシェア賃貸、レンタルバイクのネットワークを生かした民泊施設へと、いろ

ろな方面に進展していくポテンシャルを持っています。

例えばここで提案する空間は北国の苫小牧ならではの趣向で、オフ系のギア類を格納したものの。スキーやキャンプ道具はもちろんのこと、スノーモービルやマウンテンホースなど普通のガレージではなかなかイメージのわかないものも、ごく自然に楽しめます。LGSの鉄骨はこの手のブランドが採用するビッドなカラーとのマッチングも最高なのです。



ガレージ空間最奥のガレージリビングの使用例。室外場所を取るタイヤオイルなどもディスプレイ的に楽しんでもらうもグッド。構造的に奥の壁に配置されたダブルプレース(筋違い)も世田谷ベースと同一形状。このスペースは2坪、十分ですね。



ツヤ消しブラックのガレージ空間に様々なギア類のビッドカラーが生える。奥のガレージリビングを満喫して、手前を変化させるディスプレイもその都度楽しいものです。アクティブギアなど個性が輝く、遊び心溢れる世界に一つの空間になりますね。